



合同会社 DI-factory  
 代表社員  
 高柳知史 さん

## 起業して社会問題を解決したい。自分の信じた道を歩み始めます。

長年関わったヘルスケア業界の問題を解決する「コーチング&コンサルティング」会社を立ち上げる



弊社はヘルスケア業界に特化した、人と組織の成長をサポートする「コーチング&コンサルティング」会社です。コーチングでクライアントの考え方や潜在的な意識能力を引き出し、コンサルティングで目の前の問題を解決するお手伝いをします。ヘルスケア業界に25年以上身を置いた経験から、会社と個人の成長にはこの2つを合わせて行うことが必要だと考えています。コーチングだけで自発的な行動を促しても、実際には経験の少ない若者や未経験者は目標設定が難しいです。そういったところをコンサルティングでサポートしていくことで、最終的には自分で走ってもらえるようになる。私はクライアントに寄り添い、伴走するイメージです。

規制が多いヘルスケア業界の中でも、固定観念にとらわれない人材を育てたい

クライアントは主に製薬会社、医療機関です。現場を知っていることが私の強みだと思っています。クライアントの社員が私のコーチングとコンサルティングを受け、広い視野で物事を考えられるようになることで、患者さんや医療従事者に対してもより良い提案ができるようになります。またマネージャークラスの方には、部下を育てるコーチング方法をお伝えすることによって、人を育てる力をつけるお手伝いをしています。コーチングでは、部下に指示するのはなく部下が成長するのを見守ることが重要です。

社会問題を解決したいという想いから起業を意図

2011年に会社員をしながら大学院に入りました。当初の目的はマーケティングを学ぶということだったのですが、「稀少難病疾患におけるビジネスモデル」をテーマに修士論文を書いて、社会問題を意識するようになりました。起業しないと、この社会問題を解決することはできないと感じ、50歳になったら独立しようと考え始めました。

起業塾に参加して多くの学びと気づきがありました

起業を考え始めた頃、練馬ビジネスサポートセンター（以下ネリサポ）の「起業塾」に参加をさせて頂きました。私は会社でマーケティングを専門としていたのですが、基礎的な知識はあったのですが、資金の調達方法など全く知らなかったのが、とても勉強になりました。起業塾では、どこまで私がか本気で、覚悟を持って起業しようとしているかを試されている気がしました。また講座を通して、行動する大切さを伝えてくれているんだなと感じました。

起業に必要なことをすべてネリサポで相談

2019年に受講した起業塾でのビジネスプランには、「2021年4月には起業します」と書き卒業しました。その後ご縁のあった会社で3年間働き、その仕事が終わったタイミングで起業。それが昨年、2022年の



▲起業塾は6日間で起業に必要なことをグループで学びます。

ことです。

起業を決めてすぐにネリサポへ行き、中小企業診断士や社労士、税理士の方と面談をさせて頂きました。法人化するまでのプロセスや資金調達、事業計画の相談もさせて頂きました。ネリサポ内でワンストップですべてサポートしてくれたのがありがたかったです。例えば法人口座を作る時に必要なことなどの細かいことまで相談に乗ってもらえました。

最終的な目標は社会問題を解決できる会社にする

まずは全国を対象にヘルスケア業界に特化した「コーチング&コンサルティング」の事業を行い、将来は、より広い視野で社会問題を解決できる会社にしていきたいと思っています。会社員時代に、会社の立ち上げ業務は3社経験しています。しかし、いざ自分が起業するとなると全然違いますね。会社に勤めているときは毎月の給料は保証されていますが、起業したら事業がうまくいかないとお金が入ってこない。起業は、そのリスクにどれだけコミットできるかだなと感じました。また、家族の理解が絶対に必要ですね。

起業塾の最終日、中小企業診断士の先生がアンパンマンの歌の話をしてくれました。「何の為に生まれて、何をして生きるのか、答えられないなんてそんなのは嫌だ」という歌詞です。その言葉が今でも私の中に残っています。悔いのない人生を歩むため、私は自分が信じた道を進もうと思っています。



合同会社 DI-factory

東京都練馬区東大泉1-28-1  
 グランエミオ大泉学園1階  
 エミオフィス大泉学園  
 t.takayanagi@  
 di-factory.co.jp  
<https://di-factory.co.jp/>

